

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	セントラル・パーク てんま		
○保護者評価実施期間	R8年2月1日 ～ R8年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	R8年2月1日 ～ R8年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間で情報共有を行いながらチームで支援を行っている点	支援前後のミーティングや日々の記録を通じて、子どもの様子や支援内容を職員間で共有し、共通理解のもと支援を行っている	ミーティングの充実や記録の活用を通じて、より質の高い支援につなげていく
2	子ども一人ひとりの状況に応じた支援を行っている点	アセスメントや日々の観察をもとに個別支援計画を作成し、個別活動と集団活動を組み合わせながら支援を実施している	モニタリングや振り返りを通して支援内容を継続的に見直し、より適切な支援につなげていく
3	保護者との連携を大切にしている点	日々の様子を連絡や面談等で共有し、子どもの発達状況や課題について保護者と共通理解を図るよう努めている	保護者との情報共有の機会を継続し、相談支援や助言などをより充実させていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や地域参加の機会	事業所内での活動が中心となるため、地域との交流機会が限られている	地域のイベントや関係機関との連携を通じて、地域との関わりを広げる取組を検討していく
2	他児との交流機会の充実	利用児童の状況や人数により、交流機会が十分に設けられない場合がある	活動内容を工夫しながら、他児との関わりや交流の機会を増やしていく
3	職員間の情報共有のさらなる充実	日々の業務の中でミーティングの時間確保が難しい場合がある	ミーティングや記録共有の仕組みを活用し、確実に情報共有できる体制を整えていく